広報伊方町

発行所
愛媛県西宇和郡
伊方町
町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話 ④0091番

交通安全青空教室

お母さんといっしょに勉強

伊方保育所では、秋の全国交通安全運動の期間中にあたる九月二十八日交通安全青空教室を開催しました。

当日は、伊方駐在所のおまわりさん（浅川警察官）を迎え、園児とお母さんがいっしょになって、信号機、標識を使っての正しい横断の方法や信号の見方などの勉強をしました。

幼児の交通事故の中で一番多いのが「とび出し」、ついで「車の直前直後の横断」の事故です。

また、こうした事故は三歳から五歳までの幼児が、自宅から百メートル以内の場所で午後二時から午後六時までの間によく事故にあっています。

あなたのお子さんが交通事故にあわない保証は、何もありません。幼児の交通安全教育は、「交通のきまりを守ることを幼いときから身につけさせることによってその子の生命を守るだけでなく、おとなになったときに社会に適応できる基礎づくりともなる……」との感点から、日常生活の中で注意指導することが大切です。

幼児はすぐにおとなのまねをしますから、親がよい手本を示すこと、そしてくり返し教えることが大切です。

とくに母親は、幼児と接する毎日の生活の中であらゆる機会に幼児に対し交通安全についてのきまりや行動のしかたをよく教え、交通事故防止につとめましょう。

この標識は何かなあ！

おまわりさんの説明にお母さんも園児も勉強に一生懸命です。幼児の交通事故は10分間に1人以上がどこかでケガをしたり亡くなったりしています。幼児の交通安全については他人まかせではいけません。家庭生活の中での注意、指導が大切です。

川永田保育所を建設

完成は2月末の予定

伊方町議会第七十八回定例会が十月一日招集され一般会計補正予算、教育委員会教員の任命など十八議案が上程され、審議の結果、全議案が可決されました。

第七十八回定例議会

一般会計 一億五千万円補正

予算総額十三億円に

可決された主な議案は、つぎのとおりです。

◎国土調査推進委員条例の一部を改正する条例制定

国土調査事業の推進にあたり、その地区の推進委員さんにはご苦労をかけていますが、こうした推進委員さんの報酬を勤務一日につき三千三百円を三千円にアップしました。

◎災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例制定

暴風、豪雨等の自然災害によって死亡した町民の遺族の救済ならびにこれら自然災害により被害を受けた世帯主に対する、災害援護資金の貸付けを行なうことになりました。

災害により死亡したときは、その死亡者の遺族に災害弔慰金として死亡した者一人当り五十万円支給されます。

災害援護資金

○貸付限度額

世帯主が療養に要する期間がおおむね一カ月以上である負傷を負った場合……三十万円

住居が全壊した場合 五十万円

住居が半壊した場合 三十万円

家財について被害金額がその価額のおおむね二分の一以上の損害を受けた場合……二十万円

○償還期間

償還期間は十年とし、据置期間はそのうち三年。

○利 率

据置期間中は無利子、据置期間経過後は三パーセント（三分）

◎港湾整備事業特別会計条例制定

港湾整備事業の円滑な運営をはかるため特別会計が設置されました。

教育委員に

栗田氏を再任

◎教育委員会委員の任命について

九月三十日をもって任期満了の教育委員会委員に栗田龍彦氏（川永田）が再任されました。

栗田氏は教育委員長六年の町教育行政畑の大ベテランです。

こんど四年間、町教育の発展にご尽力いただきます。

固定資産評価審査委員

堀口氏再任

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

九月二十六日をもって任期満了の固定資産評価審査委員会委員に堀口勝久氏（中之浜）が再選されました。任期は三年間です。

◎一般会計補正予算（第四号）

今回一億五千九十二万円補正されいままでの予算額を合算しますと十三億二千三百九十万円の大型予算にふくれあがりました。

補正されたおもな予算内容は、別欄に紹介しています。

◎国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

二千百四万円補正され、予算総額で二億一千六百六十万円になりました。

◎港湾整備事業特別会計予算

仁田之浜地区ふ頭用地造成工事九百三十万円が計上されています。こんどの議会で五件の工事請負契約の締結についての議決がなされました。

○伊方町国保診療所新築工事

施工者 宇都宮組 宇都宮 永

請負金額 二千八百四十八万円

完成予定 昭和五十年二月

○小中浦高汐対策工事

施工者 堀田建設（八幡浜市）

請負金額 三千五百十万円

完成予定 昭和五十年三月

○中之浜護岸（補強）工事

施工者 堀田建設（八幡浜市）

請負金額 一千四百三万円

完成予定 昭和五十年三月

○仁田之浜物揚場築造工事

施工者 堀田建設（八幡浜市）

請負金額 一千五百八十万円

完成予定 昭和五十年三月

○町道亀浦町見線道路改良工事

施工者 奥村組

四国支店長 山本 厳

請負金額 四千七百三十五万円

完成予定 昭和五十年三月

補正された予算内容

こんど一般会計で補正された予算額は一億五千九十二万円で、予算総額十三億二千三百九十万円の大型になりました。

いったいどういうものが、今回補正計上されたのか、おもものを拾ってみました。

伊方越集会所を新設

総務費

川之石高等学校六十周年記念施設整備寄付金 五十万円

伊方越集会所新設工事費 一千七十九万円

伊方越集会所が新設されます。鉄筋コンクリート二階建で延面積百二十三・五平方メートルを有し、一階は小会議室（六畳）、老人の部屋（六畳）、調理室からなっています。

二階には大会議室（十八畳）、ステージ、控室（四・五畳）があり、昭和五十年二月末完成の予定です。建設場所は現在の建物跡で

川永田保育所新設に 3,195万円

民生費

川永田保育所新築工事費 三千百九十五万円

本年度町の大きい事業の一つである川永田保育所が新築されるはこびとなりました。

この川永田保育所新築事業は、用地購入費一千百六十三万円、設計監理委託料百三十八万円をプラスしますと総額四千四百九十六万円の金額を投入しての新築です。

建物は木造平屋建で三百四十九平方メートルで保育室二室、乳児室、遊戯室（ホール）、ステージ、事務室、保健室、休憩室、調理室、機械室からなっており、収容人員は五十人です。

川永田保育所 収容人員五十名

昭和五十年二月末完成の予定で四月から開所すべく工事が進められます。新築場所は川永田幸坂です。この川永田保育所が完成することによって、伊方保育所の入所難が解消されます。

農林水産業費

有寿来農道補装工事 六百五十万円

田之浦漁港第二防波堤改良工事 二百五十七万円

鳥津漁港舟揚場新設 八十三万円

大成漁港階段新設 三十四万円

土木費

町道立神線改良工事 一千万円

現在の幅員二メートル道路を四・五メートルに拡幅します。

伊方越亀浦線改良工事 九百万円

二・五メートル道路を四・五メートルに拡幅し車乗入れを容易にします。

川永田有寿来線舗装新設工事 五百万円

消防費

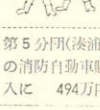
消防自動車購入費 四百九十四万円

第五分団（湊浦）の消防自動車を買替えます。

第五分団の消防自動車「昇龍号」は昭和三十四年に導入し、十五年という長年月にわたり火災の消火活動や災害現場で活躍をしてきましたが、老朽化したため更新するものです。

ホイルベース二メートル級のニッサンFH六十を購入する計画です。

第五分団ポンプ格納庫設計委託料二十六万円。



第5分団（湊浦）の消防自動車購入に 494万円

教育費

二見公民館設計監理委託料 百七十三万円

二見公民館建設工事費 三千八百九万円

二見小学校敷地内に二見地区公民館が建設されます。

鉄筋コンクリート二階建で延床面積三百六十四・八平方メートルです。

一階に学習室、図書室、事務室、調理実習室があり、二階は大広間（六十畳）、ステージ、控室（二室）の規模を有しており、こんど二見地区六部落の文化の拠点として活用されます。

二見公民館の建設に 3,809万円

母子家庭に入院費助成

十月一日から母子家庭に対して医療費の一部を助成することになりました。

医療費の助成を受けることのできる母子家庭の人はつぎの条件を備えていることが必要です。

一、町内に住所を有し、国民健康保険または、社会保険に入っている者。

一、所得税が課せられていない者。

一、生活保護を受けていない者。

一、二十歳未満の児童を扶養している者（自立した児童を除く）

一、二十歳を越え就学している者

一、重度心身障害者を扶養している母子家庭（年齢に制限なし）

一、他の公的制度により医療費の給付対象とならない者。

◎助成金の支給

受給資格者が病気やケガのため病院で保険給付をうけた入院治療に限り支給されます。

外来治療については、対象になりません。

該当される方は、早目に手続きをすませてください。

くわしいことは、役場福祉課へお問い合わせください。

伊方中改築工事はじまる

鉄筋三階建　費用一億一千百四十万円

教育施設の充実をめざす町では昭和四十三年の二見小学校校舎改築をかわきりに四十六年に有寿来小学校、四十七年六月に豊之浦小学校、四十八年三月には町内初の三階建校舎である町見中学校が改築され立派な鉄筋コンクリートに生まれかわりました。

本年は、伊方中学校が改築され近代的な施設を有する建物になります。

同校の改築工事の無事故を祈願する地鎮祭が九月三日午前十時から工事現場で町長、町議会議長、議員、教育委員会、PTA、学校長、生徒代表、奥村建設、大建設計工務など関係者が列席して行なわれました。

LL装置・アナライザー完備

建物は、町見中学校について二番目の鉄筋コンクリート三階建で延面積八百八十八平方メートルあり、建設費が九千六百四十万円、LL装置及びアナライザー等の視聴覚器材購入費が一千五百万円で合計一億一千百四十万円の巨費を投入しての建設です。

建物の構造を紹介しますと一階には職員室、校長室、保健室、放送室、二階はLL教室（視聴覚教室）＝二教室、三階には吸音テックス装備の音楽室、美術室からなっています。

建設場所は、今まであった職員室と音楽室の建物跡に建てられますが、この場所をボーリング調査した結果、地盤が軟弱なため長さ二十メートルから二十五メートルのコンクリートパイル五十六本を基礎杭として打ち込み強固な基礎の上に建設されます。

この伊方中学校校舎が完成することによって、町内全中学校の生徒が近代的な施設のLL装置、アナライザーを使用して勉強ができるようになるわけです。

より高度な教育水準の向上に役立つことが期待されます。

完成は明年二月中旬の予定です。

完成予想図です

町見中学校について、二番目の三階建です。LL装置、アナライザーの近代的施設を有し、これで町内全中学校に立派な視聴覚施設が完備することになるわけです。

生徒代表の玉串奉典

工事が無事故で順調に進みますように……

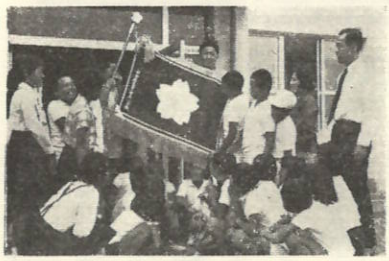
有寿来小に校旗

向井範夫氏が寄贈

静岡県三島市で建設業を手広く営み、成功しておられる、亀浦出身の向井範夫氏が母校の有寿来小学校へ立派な校旗を寄贈されました。

同氏は遠く故郷を離れて、建設業にたずさわられ活躍されておられますが、片時も故郷のことを忘れることがなく、今の社会で最も欠けている「心の教育」を重視し、そのシンボルとしての校旗を母校の有寿来小学校がのぞんでいることを聞き、進んで寄贈を申し出られたものです。

子どもたちは贈られた校旗を囲んで、先輩のあたたかい母校愛に感謝しており、この心のこもった校旗のもとに育った子どもたちも、必ず町を愛する立派な子どもたちに育って行くことでしょう。



寄贈された校旗を見上げ、生徒たちはおおよろこびです。

軌道に乗った巡回移動図書

年間延2,500人が利用

昭和四十八年五月からはじまった巡回移動図書が各部落の読書家からたいへん好評を得ています。

この巡回移動図書は、日頃本を読みたくても、手近に図書館もなく、読む機会がなかなかない人たちのために、自動車に本を積載して各部落まで、でむいて本を読んでもらおうとはじめたものです。

当初は、広報車を利用しての移動図書でしたが、ことしの八月に約十八万円の費用で給食車を改造して、利用者が本の選定をするのに便利なように改造しました。

図書車には、約一千冊の図書を積込んでおり、毎月一回各部落をまわり読書のよびかけを行なっています。

そこで一年四ケ月経過した現在、一年間の各部落の図書利用状況のデーターをみてみました。

これをみますと、一年間で延二千五百人（延六千五十冊）の人たちが利用しています。

また、部落によって利用状況もまちまちですが古屋敷、二見、仁田之浜の成績がよいようです。

特に町見地区が全体の七十％以上をしめ、だんぜん利用者が多く読書熱の高いことが目立ちます。

移動図書では、どういう図書が好んで読まれているか分類してみました。

ますトップはフィクションの四十七％、文学二十六％、社会科学八％、歴史七％、哲学六％の順になっています。

現在、中央公民館所蔵の図書総数は約二千五百冊ありますが、県立図書館から千百冊借入れを行ない貸出しをしているものです。

読書は、みずからの生活を充実し、人間形成に必要なものであることはいうまでもありません。

毎年十一月三日の「文化の日」を中心にする十月二十七日から二週間「読書週間」が、昭和二十二年から行なわれています。

図書館は、知識の庫（くら）、教育の山であるといわれています。わたしたちの生活向上、知識の高積、教養を高めるために図書は欠かすことはできません。

いよいよ読書シーズンです。

各家庭でも巡回移動図書を利用して、本を読む習慣を身につけましょう。

この善意の贈り物に対し、学校当局はじめ関係者は、深く感謝しています。

この移動図書館車が各部落をまわります。おおいに利用してください。読書の秋です。

献本に感謝

中央公民館にある図書館に、つぎの方々から献本がありました。

城岡睦皇氏（奥）＝異常の門＝他二十六冊。

N氏（仁田之浜）＝基地の子＝他三冊。

中田太郎氏（秦浦）＝道をひらく＝他二冊。

神奈川県冨士子市に在住の山本修雄氏（小中浦出身）より＝暗黒のメルヘン＝の献本がありました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、有意義に活用させていただきます。

盛大だった各地区敬老会

九月十五日「敬老の日」を中心に、町内各地区では敬老会が盛大に行なわれました。

首を長くして待っていた敬老会どのおじいちゃんもおばあちゃんも、当日はおめかしをして参加、可愛い子どもたちや、婦人会のみなさんの踊りや歌に思わず手拍子を合わせ、会場は楽しい語らいと笑いのうずが舞い、おじいちゃん、おばあちゃんの顔のシワは伸びっぱなし！

飛入りの歌あり、隠し芸ありでみんな若返って大きハッスル、ほがらかな一日をすごしました。

そこで、敬老会風景の写真を掲載するとともに、「百まで働こう」の歌をプレゼントしたいと思います。

◇　◇　◇

△長寿の道▽

伊方町の町づくり、個々の家庭づくりに、懸命に働いてこられたおとしより、長寿の秘訣は適当な仕事（運動）をすることと、くよくよしないおおらかな心が不老の道につながるとか。

そこで「百まで働こう」の長寿のうた（抜すい）を掲載しておとしよりにプレゼントしたいと思います。

少しでも多くのみなさんに読んでいただき、役立てば幸です。

目の不自由なおとしよりの方などには、お母さんがかわって読んであげてください。

そこに嫁と姑との心の交流がで、家庭円満の輪が広がることでしょう。

「百まで働こう」のうた

◎お前百までわしゃ九十九まで、ともに働くたのしさよ

◎年はとっても若さをたもち、気品わすれぬ身だしなみ

◎他人につくそう小さな情　ともに自分もよろこぼう

◎腹は六分に麦飯たべて、野菜海藻をうす味で

◎集まりましょうみんなの広場、老人クラブで生きぬこう。

◎クラブでみがこう精神（こころ）と身体、社会奉仕と気晴らしを

◎今も昔も変らぬものは、病は気から精神（こころ）から

◎互に理解と協力しあい、家内和合で幸せに

◎孫と遊ぼう無邪気な世界、この世ながらの天国を

◎話す笑顔に聞き手も笑顔、えびす顔すりゃ福の神

◎過ぎた世ばかりなつかしがらず夢を追いましょう前向きに

◎しわがよろうが白髪になろが、血圧だけは正常に

◎何はなくとも先ずお供えを、心通する神仏

◎年をとったら忘れるものだ、手帳はなさずメモしよう

◎毎日歩とう四キロか五キロ、長生きのこつ足にある

◎頭寒足熱健康のおしえ、腸を守ろう腹帯で

◎ニュース聞こうか新聞読もか、時代の動きいつも知る

◎話し合いすりゃ一家が睦む、町をつくって国づくり

◎つかれた時はつとめて休み、明日の日のため眠りましょう

◎年に一、二度健康しんさ、進んで受けよう精密に

◎長いお風呂はつとめてさけて、タオルでこすろう全身を

◎一日一食とりたいものは、パンに牛乳にうどん、そば

◎趣味に生きよう丹精こめて、心豊かに存分に

◎この世の地獄交通事故を、なくそうお互い気をつけて

◎伝えましょうよ郷土の歴史、輝やく祖先の血と汗を

◎生て食べましょ大抵の野菜、洗う殺菌忘れずに

◎長い年月おさめた知恵と、すぐれた技能を伝えよう

ちびっ子の町づくり

ぼくなら わたしなら こんな町にしたい

わたしたちの住む伊方町をよくしていくためには、多彩なアイデアと調査、話し合いが必要です。ぼくたちの町、わたしたちの町"伊方町"は将来どうかわるだろうか、また、ぼくなら、わたしなら、伊方町をこんな町にしたい。未来の夢。こどもたちの夢、空想は、はてもなくデッカク広がる。そこで町内の小学校六年生を中心に、ぼく、わたしの町づくりに本号と次号の二回にわけて登場してもらうことにしました。ちびっこの考え、夢を「夢物語」として見すごすわけにはいきません。すばらしい郷土づくりのためには、おとなも大いにハッスルが必要です。

美しい町 私たちの手で

伊方小六年 樋田 美代子

私たちが住んでいる伊方町は、空気もおいしく住みよい町です。私は、ここで生れて、ほんとうによかったと思っています。ただ、ぜいたくを言えば、もっと伊方町を清潔にしてほしいです。

スクール・ゾーンにある大川もうす黒く、通行人にいやなえいきょうをあたえます。むかしの人たちは、泳いでいたそうなのに、今ではただのゴミ捨て場としか見えません。私たちが想像している川というものは、すき通った水がサラサラ流れていて、そこには美しい魚がはねているのです。もし、あの川をきれいにしようという気持ちがあるのなら、町の役場の人たちだけでなく私たち町民一人ひとりが気をつけてはいかがでしょう。

私たちが望んでいる伊方町は、清潔さと美しさをほこるものであって、それを実現されるのは、私たち町民なのだと思います。

楽しい町に！

九町小六年 菊池 奈穂美

未来の伊方町は、どうなるかと考えてみた。

私のおとうさんのころには、四百五十人くらいいた九町小学校の児童数が、今はちょうど半分になっている。若い人たちは、みな都会に出てしまい、これからも町の人口は、減っていくのではないだろうか。農家も少なくなり、町にはお年寄りと小さな子どもたちだけになってしまうのではないだろうか。そうなったらさびしいことだろうな。

若い人たちがいないと家の仕事も町の仕事も苦労するだろうな。

しかし、人口の減った町でも町の開発は進んでいくだろう。道路も広くなり、学校も合併して大きくなり、技術も発達していくだろうな。いろんな仕事をするのにも便利な機械ができてくるだろう。

そして、楽しいこともあるだろうな。お年寄りと子どもたちが、いつも楽しく、くらしている。町の人は、みな兄弟のように助け合って仲よくくらしている。そんな町になったらなあ……そうなったら私は、いつまでも伊方町にいるのになあ。

未来の伊方町ということを考えると、私の頭の中にいろいろなことがうかんでくる。楽しい気持ちになったり、心配になったりする。楽しく、美しい伊方町になるよう、私たちは、努力していきたい。

困る安いみかん

有寿来小六年 岡本 春彦

農家が安心して農業ができる生活ができたらなあと思います。学校の生徒数も年々へっています。部落の生徒数も年々へっていくなること」「伊方町内に働く場所があること」ぼくは、父母の苦労している姿をみるたびに、そうなったし、きかいをつかい、昔より楽な生活をしていますが、家族が一年中そろって生活ができること、美しい自然を守ることを願っています。

観光化に力！

二見小六年 林 茂

ぼくたちの伊方越、道もよくなったし、きかいをつかい、昔より楽な生活をしていますが、家族が安心して農業ができる生活ができたらなあと思います。学校の生徒数も年々へっていくなること」「伊方町内に働く場所があること」ぼくは、父母の苦労している姿をみるたびに、そう

九町越公園に展望台

宇和海・伊予灘が一望

青少年センター新設など計画

九町越公園に建設工事を進めていました展望台があがりました。工事費五百九十万円、展望台の高さ十四メートルの鉄筋コンクリート造りです。

展望台全体が白色、手すりの部分はオレンジ色で仕上げられており松の緑との調和がよくとれ、美しさをかもしだしています。

高さ十四メートルの展望台から紺碧の宇和海、伊予灘が一望できると同時に、眼下には、建設が進む原子力発電所、九町地区一円が眺望でき、まさに町内有数の観光地であり、また一つの新名所が誕生したわけです。

この九町越公園は、標高百九十五メートル地点にあり、面積一二ヘクタールを有し、町では九町越公園の開発計画がなされており、その構想の一つである展望台がまず完成をみたわけです。

また、現在建設が進められている新国道がちょうど、この九町越公園のそばを走る関係上、こんどの場合、ドライバーのよき休憩所になり、・原子力発電所の見える展望地・として多くの観光客に人気を得ることが期待されます。

木町の観光開発の方向としては軟薬型、見世物型のものでなく、健康な自然レクリエーションと原子力産業、海洋科学のような新しい科学技術の学習をサービスする総合学習型に導くことが必要です。

そこで九町越公園に象徴性を持たした塔状の展望台を設け、青少年の野外活動、共同生活等実践的教育の場として青少年センターを建設するなど、二ヘクタールある公園敷地を有効に活用し、公園の整備をはかろうとするものです。

青少年センター新設など計画

将来構想として、どういう整備計画がたてられているかその青写真をのぞいてみました。

○青少年センター新設
○キャンプ場の整備
炊事場、キャンプファイヤ場の新設
○野外ステージ新設
約百人収容できる施設
○駐車場の整備
約五十台駐車できる施設
○展示館の新設
○レストランの新設
○園地内の整備
遊歩道をつくるほか、植樹等が計画されています。

こうした施設は、年度計画に基づいて順次、整備されて行きます。

松の緑とホワイトカラーがよくマッチした展望台

奥さまメモ＝生活の知恵

冷蔵庫のゴムパッキング はがきをはさんで確かめよう

冷却用のダイヤルを同じところにセットしていても、よく冷えない場合など、ちょっとゴムパッキングを調べてみてください。

簡単な方法として、はがきを下アーにはさんでしめてみます。

はがきがするりと落ちるようでしたら、パッキングの寿命がきており、冷気が逃げていると考えてください。

冷蔵庫のゴムパッキングの寿命は、大体七～八年ぐらいです。寿命がくると、ゴムの表面がガサガサとなり、ひび割れし弾力性がなくなってきます。

パッキングの取り替えは、メーカーのサービス店で相談してみてください。

洗たく機 風呂場はだめ

洗たく機の寿命が半減しますと水気の多い浴室の中ですと、長い間に洗たく機本体や配線などがくさり始め、その結果、絶縁性（電気を通さないこと）が悪くなり感電のおそれがあります。

脱衣室やろうかの片すみなどに置くとよいでしょう。

スチームアイロンの手入れ法

スチームアイロンは、手入れが悪いときびがでて、目づまり状態となり、スチーム（蒸気）の出が悪くなります。

とくに、鉄分の多い水やカルシウムの多い井戸水を使うところでは、さびやすいので注意しましょう。

手入れは、アイロンを使ったあと必ず水を抜き、五分間ほどアイロンを暖めて中に残っている水を完全になくしましょう。

それでも、さびなどで蒸気の噴出孔がつまることがありますからときどき噴出孔をそうじすることも必要です。

また、アイロン底の手入れは、はみがき粉を水でといてやわらかい布で底をよくみがき、後ではみがき粉をきれいにふきとることを忘れないでください。

そうじ機の吸引力低下

そうじ機の吸い込む力が弱くなったような気がする場合には、つぎのことを調べましょう。

◎原因の中で一番多いケースはゴミのたまりすぎと、集じん袋の目づまりです。

◎つぎに考えられる原因として、ホースの部分に紙くずなどがつまっている場合があります。またホースから空気がもれていることはないでしょうか。古くなったホースはいたんで穴があいていることも考えられます。

クギやヘアピンなどがホースにつきささり、空気もれしていることもあるようです。一度よくホースを点検してみましょう。

国★民★年★金

奥さんも任意加入を

家庭の奥さん方、国民年金の任意加入制度をご存知ですか。

国民年金は、二十歳から六十歳までの人で、ほかの年金制度に加入していない人たちの年金です。

しかし、家庭の奥さん方は、ご主人の年金制度（厚生年金、共済組合など）で、ある程度の保障をされていますが、それはごくわずかな額で奥さん自身の年金ではありません。

このことは、奥さんが病気やケガで障害者になったり、年をとったときに奥さん自身の年金による保障がないため、不安な状態にあるといえます。

そこで、奥さん方も、国民年金に加入し、ご主人の年金と自分の年金で夫婦そろって老後の生活安定に備えられてはいかがですか。

いま県下で、五万七千二百人、伊方町では約四百人の家庭の奥さんが国民年金に任意加入しております。

あなたもぜひ国民年金に加入いたしましょう。

加入の手続きは、役場国民年金係で簡単にできますから、できるだけ早く加入されますようおすすめします。

なお、奥さんが厚生年金等に加入のため、ご主人が任意加入になる場合もあります。

国民年金保険料をかけておられないご主人の方も加入して納付されるようおすすめします。

掛金は現在、月額九百円ですが一月からは千百円になります。

人権擁護委員に 小川・山口両氏

町内の人権擁護委員に小川文一郎（瀬浦）、山口勇（二見）両氏が法務大臣より九月一日付で委嘱されました。

公務員による不当な圧迫、村八分、強制圧迫、差別待遇、名誉信用侵害、借地、借家問題、家庭問題など人権問題で悩んでいる人、困っている人の相談に乗ってもらえますから、遠慮なくご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

小川文一郎氏（瀬浦）＝医師＝
電話八一〇六〇七

山口勇氏（二見）＝農業＝
電話九一〇九二八

一歩一歩たしかな貯蓄
物とお金を大切に

10月17日は「貯蓄の日」です

伊方町
愛媛県貯蓄推進委員会

スモーキン・クリーン
街を自然を美しく

タバコの投げ捨てや、タバコの不始末によって、道路が、街が、行楽地が、そして自然が汚され、火災の原因にもなっております。美しい街を、日本を私たちみんなの手で守っていきましょう。

＝日本専売公社＝

戸締りを忘れずに

十月は行楽シーズンです。家族そろってドライブへ出かけることが多くなります。

ところが、るすを狙う暴力犯罪などがふえます。せっかくの楽しい一日をだいなしにする愚者がいます。

秋をたのしくすごすために、お出かけになる時は戸締りを忘れずに、そして火のもとを点検しておきましょう。

また、近所へるすを頼んでおきましょう。

行楽へのアドバイス

＝お礼＝

神戸市兵庫区塚本通り五丁目一の十三、御旅寺市場で上田青果を経営されている上田要氏（島津出身）より一万円。

静岡県三島市谷田小山中島一六一に住いで向井工務店を経営されている向井範夫氏（亀浦出身）より一万円。

神戸市東灘区御影石町四丁目一五の三に住いの牧木清氏（瀬浦出身）より一万円。

宮崎県宮崎郡田野町下桜町に住いの政木太郎氏（瀬浦出身）より五千円。

埼玉県川越市南台三丁目七の六、林組川越社宅三〇一号に住いの山口孝法氏（二見出身）より三千円。

神戸市兵庫区若菜通り六丁目四に住いの坂本昌久氏（小中浦出身）より三千円。

東大阪市高井田西一丁目九番地に住いの吉田庄太郎氏（大成出身）より二千七百五十円。

埼玉県浦和市東岸町九丁目十一番地国鉄岸町アパート二二〇八に住いの藤川秋夫氏（川永田出身）より二千円。

それぞれ広報編集の費用にとご寄付いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康と活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和49年8月末現在
世帯数 2,465戸（－1戸）
人口 8,994人（男4,285人（－5人）（＋4人）女4,709人（＋9人））

えんむすび

昭和49年8月1日～8月31日

お誕生 おめでとう

昭和49年8月1日～8月31日

おくやみ

昭和49年8月1日～8月31日

編集後記

秋のスポーツの秋です。

紙面六十二号ことにお届けします。今月号は十月一日に開催された補正予算の内容をより早く紹介するため発行がおくれました。

この補正予算の中には、川永田保育所建設が含まれています。完成することによって、伊方保育所の入所難が解消することでしょう。

伊方中学校の校舎建設工事が着手されました。学校建設では町見中学校について、二番目の三階建です。

三面には、町内のちびっ子の町づくり掲載しました。次号でも紹介しますので楽しみに。

九町越公園にスマートな展望台ができました。展望台からは宇和海、伊予灘が一望できます。みなさんも是非一度展望して見ては如何ですか。（Y・O）